

平坦地のアスパラガスの夏芽収穫物に異変？

R6年産の春芽は全国的な低収量で始まり立茎の前進化となり現在に至っています。

立茎後例年とはやや異なる生産状況の様です。（*どうなる本格的な梅雨明け対策*）

- ①側枝や下枝、二次葉の発生が多く早く展開している（20日程早く、通常は7月上中旬）
- ②6月中旬より高温多湿での極端な夏芽の増加（30 kg/10a）
- ③品質低下と階級低下（通常梅雨明けの高温障害若茎の増加 {雌株多}）

【要因】

- ①立茎後の気温高で地上部が成樹に前進化と燐芽群の形成遅れ（地下茎の充実不足）
- ②ハウス内温度一時的な35°C以上による高温障害若茎の増加（適温は22~30°C）

【対策】

- ①梅雨時期でも天候を考慮した下温対策
- ②地下茎、燐芽群の水分確認後の水管理